

平成 27 年度卒業論文・卒業研究題目

人間科学系

氏名	題目
吉井穂高	精神障害者と人権
松木順平	人肉食とその語りの分析
山中千佳	結婚観と家族観の変容 ―夫・妻としての意義―
足立朋也	射精のジェンダー学 ―射精への意味付与と嫌悪感を分析する―
太田亮介	高校生と地域住民の「共育」を目指す高校教師のライフヒストリー
尾崎純	『知覚の現象学』における言語論と対話の可能性
川北天華	The Motif of 'The Modern Prometheus' in <i>Frankenstein</i> : Childbirth and Authorship for Mary Shelley (『フランケンシュタイン』における「現代のプロメテウス」のモチーフについて：メアリー・シェリーの出産と創作)
田中匠	起源を語る物語に対する精神分析的視点からの解釈
西尾太樹	Saki の幼年期の境遇からみる, 'Sredni Vashtar' の読解, および彼の同性愛からみる 'The story of St. Vespaluus' と 'Gabriel Ernest' の読解
二宮望	ヴァルター・ベンヤミンにおける視覚性について
村上岳	東日本大震災におけるボランティアネットワークの組織論的考察 ～チーム北リアスの活動研究を通して～
吉田純	芸術における非物質的なものについて
吉田奈穂	英国におけるシティズンシップ教育の実践
大村俊彦	震災復興から地域活性化へ ～野田村における民泊事業のエスノグラフィーを通して～
風間司	現代社会における「コミュニケーション」の理想と現実
鹿野亜由利	何が保育者を支えるのか ―「困難」と「支え」の関連性に焦点を当てて―
吉川将平	日本のハロウィン・ブームが表す現代社会 ―1980年代におけるクリスマス・バレンタインデーとの比較考察から―
桑原愛	日本における巡礼とツーリズム ―伊勢参りを例に―
澤田晃平	生権力とリーダーシップについて
中元洸太	トマス・リードの知覚理論における「判明ではない知覚」について
中山祐貴	伝承遊びにおける精神分析的考察
堀部映理	音楽によって伝わるものとは何か ―ベートーヴェンにおける「失われたもの」に着目して―
三枝栄央	『π』にみられるアロノフスキー 創作の根源
山下瑤弥子	教員の過重労働と地公災基金公務外認定処分取消訴訟の分析
山森実希	フッサール初期時間論における二重の志向性と時間の構成について
米田剛	訪日外国人旅行者のゲストハウス需要 ―京都市を事例に―
渡洋輔	アーレントの活動概念について

認知情報学系

氏名	題目
三浦 祥 敬	企業内の理念の浸透とソーシャルキャピタルの関連性
新井 真理子	共感覚的比喩表現に基づく音のイメージに関する考察
窪田 敦 之	反応の抑制が価値駆動的な注意捕捉に与える影響
清水 雄 哉	日本の英語教育の現状に対する考察
立石 真之祐	認識を基にしたオクシモロンの分類と分析
中原 匠	画像解析に基づくモノの仮想楽器化手法
松木 結美歌	Repeated short bouts of stair climbing/descending exercise after meal improve glycemic control in subjects with type 2 diabetes mellitus (食後に反復して行う短時間の階段昇降運動は2型糖尿病患者の血糖コントロールを改善する)
松下 大 祐	カテゴリーと新規表現の認知言語学的分析 —具体例としてのラーメンを用いて—
吉川 光 則	道徳的感情が顔記憶に与える影響
石田 育 子	英語中間構文の使用に関する認知言語学的考察
伊藤 篤 希	ソシオメトリック・ステータスの対人行動への反映：文化心理学的検討
今 伸 正	「LINE」会話の終結部に見られる現象についての考察
上野 貴 史	画像認識のための Convolutional Neural Network における fine-tuning の一手法
宇都 秀 太	Subject Scrambling under Negation (否定辞下における主語のかき混ぜ)
岡本 直 宏	音の快・不快情動を司る脳の情報処理
春日 悠 生	福岡県久留米市方言の終助詞「タイ」の意味
上村 太 一	仮想空間において高度推定を行った際の実際の高度と推定高度の関係
近藤 七 海	共感と記憶の相互作用とその個人差に関する検討
東海林 卓 人	Brown and Levinson (1987) のポライトネス理論の再考 —“Rationality”, ポジティブ/ネガティブの二方向性, 「フェイス・リスク見積もりの公式」の観点から—
千原 正 寛	頂点代数と KZ 方程式
辻 隆 史	特徴ベースの注意が単眼視覚情報に与える影響
辻 直 樹	他者の顔の記憶における, 自己と社会的報酬の相互作用に関する検討
内木 正 隆	深層学習における最適化理論
中 里 真	Fractal-like fluctuation in muscle synergy activity during human walking (歩行における筋シナジーのフラクタル変動)
中村 博文	型付入計算周遊
庭 瀬 裕 子	自伝的記憶と結びついた感情に記憶想起時の気分が与える影響

- 橋 渡 智 也 視野内のフレームの傾きがダーツ投動作に与える影響
- 長谷川 卓 学問としての笑いと現代の漫才との比較 —チュートリアル of 「仮想的漫才」考察
- 本 美 亮 祐 Unloading-induced atrophy and decreased oxidative capacity in the soleus muscle of rats are improved by pre- and post-conditioning with mild hyperbaric oxygen
(無負荷によって生じるラットのヒラメ筋における筋萎縮と酸素能力の低下は、その前後の軽度高気圧酸素への滞在で改善できる)
- 圓 山 圭 日本語「言いさし文」の分類について —省略に注目して—
- 村 岡 ひかる 情動が予定記憶に与える影響とその個人差に関する検討
- 山 下 開 地 運動パフォーマンスに影響する要因の文献研究

国際文明学系

- | 氏 名 | 題 目 |
|---------|---|
| 安 藤 穂 高 | サラブレッドと他のヨーロッパ軽種馬の比較考察 |
| 楠 洋 平 | 日本的雇用慣行制度の機能不全から生じる諸問題の解決へ向けて |
| 水 内 樹 | 謡曲「定家」の形式 |
| 今 任 英 信 | 証券民主化運動以降の個人持株比率低下の要因分析 |
| 岩 本 浩 市 | 生協における着席行動の解明 |
| 大 柳 慧 | 近代世界システムにおけるオランダと日本 |
| 加 地 誠 | 派遣労働を「新しい働き方」として再定義できるか —労働者派遣法改正による変革 |
| 小 林 謙 太 | 熊凝歌の背景 —憶良の文芸意識— |
| 長 村 実 香 | 中央競馬における各馬の主観的勝率と客観的勝率の関係性の考察およびその活用 |
| 成 瀬 圭 将 | 行政による地域猫活動の支援はどうあるべきか —京都市まちねこ活動支援事業を事例として— |
| 深 田 健 吾 | 有り得べき別の社会の可能性を構想するために —時枝 誠記の「辞」概念を用いて |
| 前 木 秀 光 | 渋沢栄一の論語観 —仁についての比較・考察— |
| 向 島 徹 | ジョセフ・グラーの天皇観 —日本占領をめぐる外交において |
| 森 岡 花 梨 | 治安維持法と「転向」 —平沼騏一郎と小林杜人をめぐって— |
| 横 山 凜 | 日本人の宗教的な意識に関する実証的研究 —大学生に対するアンケート調査から— |
| 渡 辺 真知子 | 美的感覚における日本人の白人コンプレックスについての分析 |
| 秋 山 大 樹 | チベットはいかにして国際的関心事となったか |
| 岩 尾 夢 香 | バレンタインデーの社会的損失 |
| 内 山 登紀子 | 全体主義の誘惑 —前ファシズム期ドイツにおける「空気」についての考察— |
| 江 連 沙 織 | 日本と中国の近代歴史教育の比較 —日中歴史教科書問題の観点から— |
| 麻 植 文 佳 | 久坂葉子の自殺要因に関する考察 |
| 小 川 秀 人 | 近代住宅の保存及び継承の新たな方法の可能性について —塩屋の旧ジョネス邸を事例として— |
| 河 嶋 裕 輝 | 妊娠による軽易業務転換を契機とする降格の違法性に関する最高裁判決の検討 |

- 木下 皓司 プトレマイオス朝末期の対ローマ関係 ―軍事力を媒介に―
- 清水 博匡 木材輸入に対する余剰分析
- 小崎 勇周 出生行動選択における相対所得仮説の検証研究
- 高取 諒輔 宮城県浦戸諸島の島民が求める政策 ～浦戸一体化計画～
- 田中 娑椰 Obergefell v. Hodges 判決の民主主義的正当性に関する考察 ―「司法審査と民主主義」論から―
- 寺島 和志 バブル経済から見たこれからの社会の進むべき方向
- 野尻 勢 ステルスマーケティングに対する関係性明示義務規制を日本に導入することの是非
- 秦 一貴 長時間労働は正に向けて ～年次有給休暇制度改革への提案～
- 濱崎 優太 就職活動の不思議の経済学
- 藤井 太郎 「グローバル化は21世紀の流れである」という見方について考えてみる
- 堀田 華絵 韓国にはなぜキリスト教信者が多いのか
- 前田 健太朗 「尊厳死法案」の検討 ―論点の整理と評価の試み―
- 間野 祐 石油産業におけるCSRガバナンス ―政府・オイルメジャー・NGOの協調と対立
- 萬野 彩 キャラクタービジネスによる地域振興の可能性をさぐる
- 武藤 稔 ふるさと納税における返礼品制度に対する評価
- 村山 俊紀 介護離職問題の解決と介護休業制度 ―育児介護休業法第29条の義務規定化の提案―
- 森下 舞 地域振興イベントの継続的開催 ―京都府伊根町の伊根博覧会を事例として―
- 保島 卓充 AIIBと中国の未来
- 山内 葉月 ホワイトカラー労働の特徴と、これからの労働時間規制
- 山岸 将暉 「行政の政治的中立性」論の規範的・経験的検討 ―1990年代の政治変動前後を対象に―
- 山下 浩輝 大学を通じた学卒者の地域就職定着化
- 山本文香 貨幣追求の倒錯性と価値の形態 ―資本の定式としてのW-G-W'の可能性―
- 由藤 聖利香 地域発展を目指した六次産業化のあり方とは ―京都府南丹市美山町の美山牛乳を事例に―

文化環境学系

氏名

題目

- 市川 森彦 なぜ「特攻」で平和を訴えるのか ―新聞投書にみる「特攻」の継承―
- 岡村 さくら 寛容の縮図 ―コンタクト・インプロヴィゼーションの一側面として―
- 佐竹 秀太 居住地としての京都市 ―大学生の住環境―
- 中島 徹哉 企業のスポーツ支援に関する研究
- 山本 紘平 〈パレスチナ〉に帰る ―イラエルに生きるパレスチナ人LBTQの思想的地平
- 井上 緑 放射能と共に生きる ―放射能を「気にする」人、「気にしない人」の分断
- 太田 明宏 日本における西洋の食文化の受容 ～『女子大学講義』と『家庭週報』を通して～

- 大竹 碧 1980年代から2000年代における地方移住の傾向変化
—メディア分析と滋賀県長浜市の移住者の語りを手掛かりとして—
- 北西 諒介 施設名称に着目した地名利用に関する考察
- 吉良 和也 日本の大都市圏の郊外における社会増減の分類とその考察
- 近藤 結衣 六甲アイランドの持続可能性
- 平山 朋実 日本における韓国プロテスタント教会 —その民族主義的性格に着目して—
- 室田 定政 京都「寺町・御幸町」における古着店集積と古着文化
- 山本 裕子 近代における滋賀県の風光利用策

自然科学系

- | 氏 名 | 題 目 |
|---------|---|
| 川原 圭 貴 | 高温超伝導体における非整合スピン相関 |
| 瑞慶覧 長 空 | 鉄系超伝導におけるフェルミ面縮小効果 |
| 高 島 真 弘 | 液晶性棒状分子 3OCB の結晶化および相転移について |
| 広 田 翔 | 波を推進力とする動力の開発 |
| 丸 山 恭 平 | 医療応用を目的とした六方晶窒化ホウ素の合成、化学修飾及びその評価 |
| 綾 仁 莊 子 | コオロギ (<i>Nisitrus sp.</i>) の摂食選好性を利用したオオバギの非アリ防衛強度の評価 |
| 大 島 七 海 | Characterization of caesium accumulation in wild radishes
(大根野生種ハマダイコンにおけるセシウム蓄積特性の解析) |
| 小 林 沙 織 | 円運動を行うボース・アインシュタイン凝縮体の生成 |
| 高 橋 大 樹 | Molecular phylogeny and taxonomic implications of <i>Asarum</i> (Aristolochiaceae) based on ITS and matK sequences
(ITS 領域と matK 領域に基づくカンアオイ属 (ウマノスズクサ科) の分子系統と分類学的考察) |
| 田 中 寿 樹 | イリジウム錯体触媒を用いたセルロースからの水素生成反応に関する研究 |
| 沼 尾 優 希 | ラセミ体医薬品の優先富化現象 |
| 藤 井 富 秀 | レーザー分光法を用いたオキシダント・エアロゾル生成を駆動する大気ラジカル (HOx) 連鎖反応系の解明 |
| 山 中 竜 朗 | フェニルアラニンとグリシンから構成されるジペプチド誘導体の合成、結晶構造、および気体吸着特性に関する研究 |